

# シルバー浜松

令和8年

1月

第128号

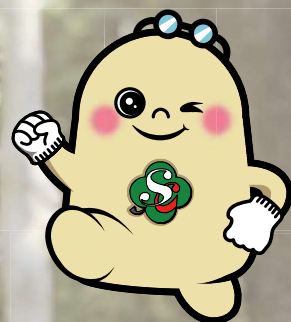
題字：夏目 雅代会員(浜名事務所)



**柿の収穫作業**  
P.3に関連記事掲載

## 目次

- |                  |     |
|------------------|-----|
| ●新春のごあいさつ .....  | P.2 |
| ●職場訪問 .....      | P.3 |
| ●会員のひろば .....    | P.4 |
| ●会員の作品紹介 .....   | P.5 |
| ●安全就業推進員から ..... | P.6 |



## 新春のごあいさつ

理事長 安間 みち子

新年あけましておめでとうございます。

新春の光を受けて良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より浜松市シルバー人材センターの事業運営にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本年も会員の皆様の知識と経験を活かし、多様な就業機会の創出と生きがいのある生活の実現をお手伝いするとともに、地域に根ざした高齢者の活躍支援に貢献してまいりたいと存じます。

去年は会員専用サイト「Smile to Smile」サービスの本格運用により、これまで郵送していた「配分金明細書」をデジタル配信へと切り替えました。また、フリーランス新法への対応として包括的契約への移行を進め、「会員就業条件明示書」や「会員業務仕様書」などの重要書類もデジタルにて配信しております。

新しい仕組みにご理解とご協力をいただいていることに感謝いたします。

皆様にとって本年も幸多い年となりますことをお祈り申し上げます。



# 謹賀新年

私たちもシルバー人材センター事業に協賛しています

### 賛助会員（順不同）

- ・浜松商工会議所
- ・浜松磐田信用金庫 本店営業部
- ・連合静岡 浜松地域協議会
- ・株式会社 イトーシンミュージック
- ・株式会社 静岡銀行浜松営業部
- ・株式会社 アーシス
- ・龍山森林組合
- ・株式会社 中野町チップ
- ・東海電子印刷 株式会社
- ・NRI社会情報システム 株式会社
- ・三富印刷 株式会社
- ・株式会社 セレクト
- ・丸大食品 株式会社 中日本特販営業課
- ・株式会社 AZUDアポスト
- ・グラン・ホールディングス 株式会社
- ・株式会社 静岡オリコミ
- ・浜松市老人クラブ連合会
- ・株式会社 浜松山福
- ・杉山メディアサポート 株式会社
- ・ソフトプレン工業 株式会社
- ・浜松環境維持管理 株式会社
- ・アマノ 株式会社 細江事業所
- ・株式会社 青柳
- ・株式会社 マストレ
- ・有限会社 アイエヌジー
- ・遠州信用金庫
- ・杉森印刷 株式会社
- ・株式会社 ビーム
- ・三ヶ日町農業協同組合
- ・公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー
- ・良い広告 株式会社
- ・株式会社 サンワールド社
- ・Kiom



## 柿の収穫仕事を取材

浜名事務所の管轄内では、近隣の農家さんからみかんや柿の摘果や収穫作業の依頼があります。外作業で大変な面もありますが自然や季節を感じられるお仕事です。実際に引佐町で柿を栽培している農家さんの現場で就業をしている森澄子会員に取材させて頂きました。

### 【仕事の大変なこと、やりがい】

#### 1. 柿の収穫作業を始められたきっかけは？

昔から柿が大好きだったので。最初は芽かき？摘果？と分からないことばかり。でも皆さんが本当に親切で丁寧に教えてくれました。

#### 2. 大変なこともあったのでは？

夏の暑い日は大変でした。でも『無理しないで休んでね』って、気を使ってもらえて助かりました。そんな優しさが本当に嬉しかったです。

#### 3. 印象に残ったことは？

やっぱり収穫ですね。光の加減で赤く見える実もあるから、これはもう少しかな？なんて慎重になります。一つ一つハサミで二度切りして、コンテナにきれいに並んだ時の達成感！格別です。

#### 4. 今の思いを教えてください。

最初は芽かきだけのつもりだったのに、収穫までしたいと思うようになって、夢が叶いました。苦労もありましたが、それ以上に人との出会いと温かさに恵まれて、本当に良い経験が出来ました。柿のおかげで充実しています。



### ～ 取材して ～

農家さんの話を聞くと収穫作業は農作業の中で最も重要な仕事で収入に直接関わる仕事。それを確実に丁寧に収穫してくれるシルバーさんに感謝しているとお声を頂きました。農作業は時期によって忙しい時期と閑散期があるので、この忙しい時期にきてくれるのもありがたいとのことでした。会員さんも地域の産業に貢献している実感や季節を感じられる仕事に誇りをもっており素晴らしいと感じました。

取材日：令和7年11月7日(金) 取材：会報編集委員 半田

# 会員の ひろば

## 趣味紹介

### ～色鉛筆による精密画～



浜松中央事務所 田中 伸政 会員

「色鉛筆画」なかでも「精密画」を描く事を趣味とされている、田中会員にお話を伺いました。

#### 《はじめたきっかけは?》

私は美術大学で工業デザインを専攻し、卒業後は楽器メーカーで楽器・スポーツ用品・家具などのデザインをしていました。

定年後も、大学でデザインの授業をサポートするなど、長くデザインに携わってきました。

その後、時間の余裕ができたことで、自分の画力を試してみたいと思い、道具が扱いやすく、また大学時代に使っていた色鉛筆があった為、色鉛筆画、中でも精密画を始めました。



#### 《精密画での道具へのこだわりは?》

- ・100色ぐらいを揃え、なかでも黒色は硬さの違いで6本を使い分けています。
- ・鉛筆は常に先をとがらせ、手数を多くし「線」ではなく「面」を描くことを目指しています。
- ・鉄筆、カッター、消しゴムも精密画に合う物を使っています。



#### 《やりがい、楽しみは?》

- ・描き始めると、没頭し、作品が完成した時は何とも言えない充実感を覚えます。
- ・物造りが好きで、色鉛筆ケース・作品額も自作で、家具も造っています。



#### 《今後やりたい事は?》

- ・新たなジャンルの被写体に挑戦したく、猫を描いてみたいです。
- ・知り合いの方からの作画依頼があれば、これにも応えていきたいです。
- ・自宅の庭木を剪定しており、学校用務員の仕事の中でも剪定業務があるため、庭木の剪定の腕も上げたいと思っています。



インタビューさせて頂いた感想は、好きな美術で視野を更に広げる事への積極的な姿勢に、羨ましさを感じました。

取材日：令和7年9月8日(月)

取材：会報編集委員 外波山、杉田、吉田

## 会員の作品紹介 テーマ「冬の風物詩」

会報「シルバー浜松」第127号で会員の皆さんに「冬の風物詩」をテーマとした作品募集を行いました。応募のあった素敵な作品を掲載いたします。

### 【己書】



浜松中央事務所 山崎 眞佐子



浜松中央事務所 八巻 美弥子

### 【俳句】

浜名湖の  
電車の中から  
ゆりかもめ

浜名事務所 河合 美枝子

### 【エピソード】

#### — 中田島砂丘での思い出 — 浜松中央事務所 鈴木 宏昌

私の冬の思い出は高校生の頃、五人で「日の出会」を結成し、初日の出を見に行った事です。元日の非常に寒い早朝に自宅を出発し、自転車で一時間程の中田島砂丘へ向かいます。五十年以上経った今でも、忘れられない印象深い思い出です。

何故それ程までに記憶に残っているのか?と疑問に思われるでしょう。その理由は、砂丘が太平洋に面している為、冬の澄んだ空気の中で水平線から昇る初日の出を拝めるからです。それは、美しく荘厳で胸が熱くなるほどの感動が味わえます。

又、中田島砂丘は冬場に強い西風(遠州のからっ風)が吹き抜け、砂が動き砂丘の表面に美しい「風紋」という模様が現れます。この風紋が、冬の期間もっとも綺麗に見えると同時に日によって姿が変わる為、自然が生み出す壮大な景色に感銘を受けます。

このような背景から私にとって「冬の風物詩」と言えるのです。

#### — 冬空の下で<sup>ほうだ</sup>祝田の観音様祭(細江町) — 浜名事務所 山本 守男

明け方、打ち上げ花火の音が聞こえた。今日は1月6日だから祝田の観音様の祭りの日。多くの人達が参拝に訪れます。露店もたくさん出て賑やかになります。たい焼き、焼きとり、わた菓子、焼きそばなどに人が並んで待っています。

子供の頃は、お正月に貰ったお年玉をポケットに入れて小雪がちらつく道を心弾ませて友達と観音様祭りに向かいました。祝田の観音様は、袋井の法多山の姉様になり格式高い寺とお年寄りから聞いていました。

多くの人達がお参りに並んでいる本堂の近い処では護摩を焚く煙の臭いでこの身が清められる気がします。この寒い時期に少なからず熱気が感じられる日でした。

# 今日も一日ご安全に!! 安全就業推進員

## 1. 静岡県シルバー人材センター連合会の「巡回訪問」が実施されました

去る9月26日と11月12日に、静岡県シルバー人材センター連合会（以下「県シ連」）の安全就業推進委員による「巡回訪問」が、当センターで実施されました。

県シ連の巡回訪問は、県内各地のシルバー人材センターの会員が就業する現場に直接出向き、就業が安全で適切に行われているかを確認し指導するもので、今回当センターが該当となったものです。

9月26日の午前中に天竜事務所管内、午後は浜名事務所管内、11月12日は浜松中央事務所管内のいずれも機械刈り除草現場で当センター会員の作業状況の確認が行われました。

その後、現地調査に同行した各事務所の所長と当センターの安全就業推進員らと意見交換を行いました。

意見交換では、当センターから安全就業への取り組みを説明した後、県シ連の安全就業推進委員から、**「飛び石防止ネットの積極的活用、近接作業への注意、作業方法が地域の会員任せになっていないか」**等々のご意見をいただきました。

当センターとしても指摘されたご意見を参考に、就業中の事故を未然に防止し安全に就業できるよう会員の皆さんと一緒に努めてまいりますので、今後ともご協力をお願いします。



9/26 天竜事務所管内現場

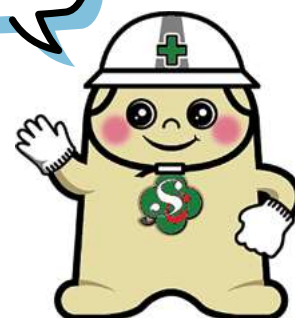


9/26 浜名事務所管内現場



11/12 浜松中央事務所管内現場

事故に気を付けて  
安全に就業しましょう!



## 2.事故の状況について 4月から11月まで

### 傷害事故

| 事故内容      | 件数 |
|-----------|----|
| 転倒・落下     | 13 |
| ハチ・ダニ(刺症) | 10 |
| 熱中症       | 4  |
| 切創        | 3  |
| 交通事故      | 3  |
| その他       | 6  |
| 計         | 39 |



傷害事故39件の内訳は上記の表のとおりです。昨年度11月までに6件だった転倒・落下事故は13件で残念ながら増加し、3割を占めています。**転倒・落下は重症化する恐れがありますので、作業の前には軽いストレッチなどで身体をほぐし、気持ちに余裕を持って作業に臨み転倒・落下を防ぎましょう。**

また、ハチの刺症なども多く、まずは予防のため現場の確認と除草・植木などに就業する方は服装に注意し、殺虫剤、毒吸引器(ポイズンリムーバー)等も用意しておきましょう。

今年も酷暑が長く続き、熱中症も4件ほど発生し、事故報告のされない軽度の熱中症も含めれば、さらに多かったかと思いますが、小まめな水分補給と塩分を摂るなど予防に努めてください。

今回は交通事故が3件ありました。歩行者でも運転者でも先ず交通ルールを守り、加齢によりとっさの反応が遅れてしまうことも自覚し交通安全に努めましょう。

### 賠償事故

| 事故内容         | 件数 |
|--------------|----|
| 住宅窓ガラス、車両破損等 | 8  |
| 電話線切断等(植木)   | 2  |
| その他          | 3  |
| 計            | 13 |



賠償事故13件のうち8件が除草(機械刈り)によるもので、すべてが「飛び石事故」です。車両への飛び石事故は減少しましたが、住宅の窓ガラスへの事故が増加しています。特に、植木剪定の準備のため庭を機械刈りで除草した際に、十分な飛び石対策もしないで住宅の窓ガラスを破損する例が発生しています。しかも、当センターで禁止されている刈刃にナイロンコードカッターを使用した事故事例も出ています。

**現場近くに住宅の窓ガラスがあれば、飛び石防止ネットの使用、雨戸の閉扉、当センターで幹旋している刈刃の石トバサースや隼(ハヤブサ)を使用し、刈払機エンジンの中低速回転運転、刈る方向への注意など、幾重にも安全対策を講じて作業に取り組んでください。**

## 事務局だより

### 我が家のペットをテーマとした作品募集

会報「シルバー浜松」に掲載する作品を募集します。今回のテーマは「我が家のペット」です。我が家のペットなどを表現した作品をお待ちしております。

#### ●募集作品：テーマ「我が家のペット」

写真、絵画、手芸、俳句、川柳、エピソード(400字以内)などテーマに沿った作品。

#### ●作品応募先

下記宛先に郵送、または右記応募フォームから応募してください。

〒432-8023 浜松市中央区鴨江三丁目1番10号

浜松市シルバー人材センター「シルバー浜松」係

#### ●応募締切日

令和8年1月30日(金)必着

作品が掲載された方には薄謝を進呈いたします。

※応募作品は返却いたしません。あらかじめご了承ください。



▲応募フォーム

### 会員の現状

令和7年12月1日現在

浜松中央事務所  
2,838名

浜名事務所  
1,106名

天竜事務所  
462名

合 計 4,406名

### 天竜川クリーン作戦にボランティアで参加

令和7年11月9日(日)に天竜川河川敷のゴミ拾いボランティアに浜名事務所から9名が参加しました。

雨天だったので時間を短縮し、テキパキと作業をしました。



### ゴルフ仲間を募集中!

令和7年11月12日(水)に会員有志の集まりにより、「三木の里カントリークラブ」でゴルフコンペが開催されました。次回は令和8年春を予定しています。まだ同好会はありませんが、発足に向けてメンバーを募集しています。

参加を希望される方は浜松中央事務所(Tel053-454-2377)までご連絡ください。



### 編集後記

令和7年10月、憲政史上初の女性首相と女性財務大臣が誕生しました。政治的な立場はさておき、「女性が首相や財務大臣になる時代」を迎えたことに、長い年月を重ねて道を拓いてきた先人たちの努力を思わずにはいられません。一步一步の積み重ねが、未来の当たり前を形づくっていく～そんなことを改めて感じました。

先日、作家の志茂田景樹さんがX(旧Twitter)で「人生は自分との闘いが8割です。後の2割は人との協力、そして妥協です」と発信されていました。この言葉に深く心を動かされました。これまでの私は「妥協と協力が8割、自分との闘いが2割」でしたので(年齢的に手遅れ感は否めませんが)自分との闘いの比率を高めたいと思いました。

また最近では、高齢者の社会的孤立が認知症などの健康リスクに繋がるという報告があります。心も体も健やかに保つためには、人との繋がりが欠かせません。今話題の「推し活」も自分を元気にしてくれる素敵なきっかけ。好きなアーティストや好きなことを応援する気持ちたちが毎日に彩りを添えてくれるようです。これからも、前向きに、心豊かな日々を一緒に重ねていきましょう。

会報編集委員 半田 あけみ



令和8年(2026年)1月

発行:

公益社団法人 浜松市シルバー人材センター  
〒432-8023 浜松市中央区鴨江三丁目1-10

ホームページ

<https://hamamatsu-sjc.com/>

スマートフォン等で読み込んでください。

